2021年3月14日

学生部長　本郷　亮様

関西学院大学体育会洋弓部

部長　　　渡辺敏雄

監督　　　齋藤　学

主将　　　射場直希

女子リーダー　岸本弓果

関西学生アーチェリーリーグ戦開催に伴う学内施設使用条件緩和についての嘆願書

拝啓　時下ますますご発展のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、4月4日（日）より男子第 61 回・女子第 56 回 関西学生アーチェリーリーグ戦が開催されます。本大会は2021年度王座決定戦、全日本学生アーチェリー西日本大会の選考を兼ねており、通年において開催される大会のなかでも重要度としては最高位に位置する大会で、毎年この大会を目指して日々練習に励んでまいりました。

本年度はコロナウイルス感染防止対策として、対面での試合は行わず、各大学の洋弓場（レンジ）にてオンラインでの実施が決定されました。そのため、選手、補欠選手2名、コーチ1名、DOS（主審）1名、審判員1名、学連員1名の計14名（女子11名）が同洋弓場内に必要となります。現在の洋弓部ガイドライン、三田ガイドライン、大学指定人数の状況下からは逸脱した人数となります。

つきましては、本大会に当部が参加できるため、下記の通り、現在の人数制限、時間制限を緩和いただきますよう、ご配慮をお願いいたします。

下記の案が認められない場合、試合自体を行うことができず不戦敗となります。また、その場合2部リーグへの降格も同時に行われ、来年度の王座決定戦についても進出が不可能となります。

甚だ勝手ではございますが、諸般の事情をご賢察くださいまして、ご了承くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　敬具

記

検討いただきたい緩和案について

１．時間制限を2時間に延長してください。

２．入場人数制限を別紙のとおり緩和許可をお願いします。

　なお、緩和案については、2案提案していますが、いずれも案1を第1希望とします。

男子部について

案1.三田キャンパス洋弓場での実施

案2.上ヶ原キャンパス9名、三田キャンパス9名での分割実施

女子部について

案1.上ヶ原キャンパス洋弓場での実施

案2.三田キャンパス洋弓場での実施

以上

別紙

実施方法及び感染防止対策について

◆アーチェリー競技について

・選手8名（5名）が同時に行射を行い、その合計点で競技します。

・SHOOTING LINE（以下、ＳＬと言う）上で行射します。

・WAITIMG LINE（以下、ＷＬと言う）はＳＬの５ｍ後方（上ヶ原の50ｍＳＬでは2ｍ後方）に設置され、行射前の選手待機場所、審判・ＤＯＳの監視位置として設定されます。

・DOUBLE WAITING LINE（以下、ＷＷＬと言う）はＷＬの５ｍ後方（上が原の50ｍＳＬでは会場の都合上ＷＬと同様の２ｍ後方）に設置され、補欠選手、応援者の待機場所となります。

・コーチエリアは、ＳＬからＷＬの間、男子1～8的（女子1～5的）の間で、行射中、コーチが入れるエリアとなります。

・静止した状態で行われるため呼気の過度な乱れは起きません。

◆大会の期間及び、試合時間について

・本大会の開催期間としましては、4月4日（日）より5月2日（日）まで、5週に渡り毎週日曜日に開催されます。（優勝決定戦進出の場合は5月9日までの6週間）

・試合時間としては、午前の部の9:30〜11:30、午後の部14:00〜16:00となり、男女それぞれが同日別時間帯に試合を行います。

・競技場内に入場する14名（女子11名）は全て当部所属の学生となります。

◆感染対策

・選手は行射中以外では常にマスクを着用します。

・過度な応援や発声（選手個人間での戦略的コミュニケーション等を除く）などは行いません。

・行射中の選手以外の6名は常にマスクを着用し、運動及び発声（審判行為・コーチによる戦略的コミュニケーションを除く）は行ないません。

・コーチは、コーチエリアに入らずに行います。なお、選手に体調不良、弓具破損等不測の事態が起きたときはコーチエリアに入ることはありますが、マスク着用の上、15分以内で、接触を極力避けた対応となります。

・行射中の選手以外の6名はＷＷＬまたはＷＬ後方、つまり、選手の2m以上後方、に待機します。なお、DOSおよび審判員は、審判行為により接近しますが、コーチ同様の対応を行います。

・採点時は、選手、DOS、審判員、学連員が的前に行って点数を確認しますが、全員マスクの上、ソーシャルディスタンスを守って行います。

◆緩和いただきたい内容

１．男女とも本大会期間中試合が行われる毎週日曜日を限定とする。

２．試合の所用時間は2時間以内となります。試合当日に限り、制限緩和をお願いします。

３．以下の通り入場人数の制限緩和をお願いします。

（１）男子部について

※今まで三田キャンパスガイドライン上での使用人数上限は4名ですが、そちらの人数　　上限を本大会期間中のみ一時的に緩和いただきたく存じます。

感染防止対策について、三田キャンパス洋弓場の横幅は18m確保できることを確認いたしました。的を貼る四脚台についても移動が可能であり、選手8名を横幅に対し均等に配置した際、対人距離2mの確保を行うことが可能となります。現時点の洋弓部ガイドライン上で許可いただいている対人距離と同様の確保が行えるため、感染防止対策としては十分に行えると考えております。

[案１]（第1希望）

　神戸三田キャンパスにおいて、選手8名およびその他補欠選手以下6名の合計14名が入場し、実施させてください。補欠選手以下6名は、ＷＬまたはＷＷＬ後方におりますので、対人距離は十分に取れると思われます。

団体戦であり、チームワークを向上させるためには、やはり同じところにいて行った方が、効果があります。ぜひともこちらの案をお認めくださいますようお願いします。

[案2]（第2希望）

上ヶ原、神戸三田キャンパス洋弓場の使用人数上限は7名と8名ですので、各洋弓場に、選手4名、補欠選手1名、コーチ1名、DOS（主審）1名、審判員1名、学連員1名の計9名の入場の緩和いただきたく存じます。

つまり、上ケ原は2名、神戸三田キャンパスは1名多く入場許可をお願いします。

上ケ原、神戸三田キャンパスとも、補欠選手以下5名はＷＬまたはＷＷＬ後方におりますので、対人距離は十分に取れると思われます。

（２）女子部について

[案1]（第1希望）

上ヶ原キャンパス洋弓場での使用人数上限は7名ですが、そちらの人数上限を本大会期間中のみ一時的に緩和いただきたく存じます。

つまり、選手5名およびその他補欠選手以下6名の合計11名が入場し、実施させてください。補欠選手以下6名は、ＷＬまたはＷＷＬ後方におりますので、対人距離は十分に取れると思われます。

洋弓場の特性から、上ケ原キャンパスの方が風対策等射やすい会場となっており、上ケ原キャンパス所属学部の学生が多い関係上、射慣れた会場での試合の方がより得点獲得が望めますので、何卒上ケ原キャンパスでの許可をお願いします。

[案2]（第2希望）

男子部案1と同様です。

つまり、選手5名およびその他補欠選手以下6名の合計11名が入場し、実施させてください。補欠選手以下6名は、ＷＬまたはＷＷＬ後方におりますので、対人距離は十分に取れると思われます。

以上

